

表紙で振り返る  
広報にしのみま

西ノ島町誌「広報にしのみま」は、令和4年10月号で第600号を迎えました。  
これまで発行した広報誌からほんの一部ではございますが、表紙を紹介すると共に、西ノ島町の出来事やその時代の町の様子を振り返ります。



賑やかに行なわれた仮装大会「栄えるで賞」(三度地区)

昭和52年12月号(214号)

町制20周年記念行事の仮装大会。会場の西ノ島中学校に約3,000人の町民が集まった。表紙は「栄えるで賞」を受賞した三度地区。



主な記事◆

◆季節の町  
夏には  
どうなる  
の観望  
お盆に  
お盆に  
お盆に

昭和48年8・9月合併号(186号)

夏の観光ラッシュ。道路を埋め尽くすほど訪れた観光客(現JF浦郷付近)。またこの年の夏、水不足で給水車がフル稼働した。



昭和58年7月号(241号)

5月26日、日本海中部地震で津波が襲来。床上浸水7戸、床下浸水43戸の被害が出た。表紙は、運河から美田湾へ津波が入る瞬間。



一人だけの入学式  
珍崎小学校ただ今十六名

昭和56年4月号(231号)

珍崎小学校、一人だけの入学式(全校児童16名)。4年後の昭和60年3月、珍崎小学校と三度小学校は閉校した。



日曜日の早朝美田児童会に集合したサイクリングクラブの皆さん(小学にて)

昭和54年9月号(222号)

美田小児童中心の体力づくりグループ「おはようサイクリングクラブ」。毎週日曜日朝6時30分から町内を自転車で駆け抜けた。



平成4年6月号(287号)

隠岐アイランドトライアル大会開催。出場者95名、島外からの出場者が「(町民が)沿道で応援してくれるのが一番嬉しい」と。



昭和62年6月号(264号)

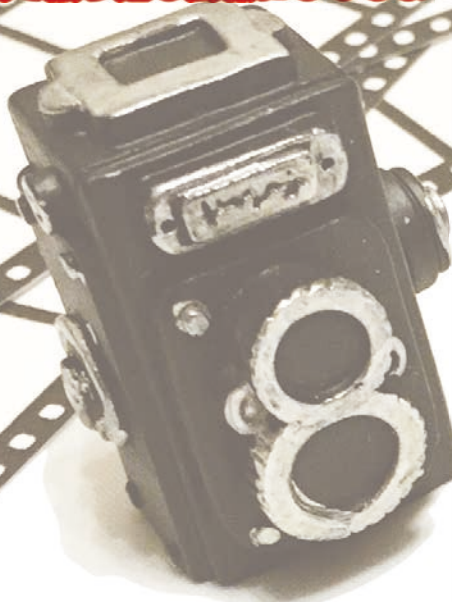
町制30周年記念でNHK公開番組「のど自慢」が開催された。会場の西ノ島中学校体育館に1,400人余りの観客が詰め掛けた。



昭和59年4月号(245号)

浦郷港で開催された島びらきオープニングの様子。またこの年、高速旅客船マリンスターが就航し、隠岐本土間約100分の時代が到来。

表紙で振り返る広報にしのみま



平成 11 年 7 月号 (321 号)

平成 9 年 4 月にオープンした町民プール。当時はインストラクターが在籍し、泳げない人への指導を行っていた。



平成 11 年 4 月号 (318 号)

3 月定例議会の様子。この日から開会場所を役場議場からノアホールへ移動。会期中総勢約 200 名の傍聴者が訪れた。



「広報にしのみま」のバックナンバーは、コミュニティ図書館で閲覧することができます(貸出不可)。また、昭和 55 年以前の広報誌をお持ちの方で、図書館へ寄贈していただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。(コミュニティ図書館 ☎ 08514-2-2422)



平成 23 年 5 月号 (463 号)

西ノ島小学校開校、初めての入学式。6 年生に手を引かれ入場する新 1 年生。この時の新 1 年生は今年度 18 歳。



平成 16 年 3 月号 (377 号)

建設中の西ノ島大橋。これから 1 年後の平成 17 年 4 月 23 日に 4 年の歳月を要し完成し開通した。



平成 13 年 10 月号 (348 号)

全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル西ノ島大会が開催され、全国から参加者約 450 名、42 都道府県から選手が来町。

あの時、表紙を飾った あの人は今

番外編



中浜 正登さん  
西ノ島町役場勤務

隠岐島消防署  
海士出張所勤務  
恩田 祐也さん



平成 12 年 10 月号 (336 号)

第 55 回とやま国体に、隠岐島前高校レスリング部の出場が決まった時、西ノ島町の選手 4 名が表紙を飾った。



平成 25 年 8 月号 (490 号)

西ノ島中学校校舎 43 年間の歴史に幕。解体前の校舎を惜しみ、町内外から多くの卒業生等が見学に訪れた。